

うららだより ～開設5周年号～



行事紹介のコーナー

- デイケア 10月 姫路セントラルパークへ外出
グランドゴルフ大会
- 11月 運動会
- 2F 誕生日会 (毎月第1日曜日)
- 3F 10月 ユニットクッキング (さつまいも料理)
誕生日利用者外出(よかたん)

今後の行事予定 文化祭 クリスマス会



夏祭りを終えて (行事委員会)

今年は、利用者様参加型の運営を目標とし、春先から何度も話し合い、何とか開催まで辿り着きました。

いざ本番となり、迫力ある八多太鼓、勢い溢れるエイサー、夏の風情を感じた盆踊り、それを見る利用者様の温かい表情が、私達の不安を吹き飛ばしてくれました。

催し物や出店は、淡河周辺地域の皆様、各関連施設・関連企業の皆様のお力添えによって、大盛況のもとに運営することが出来ました。

また、利用者様、ご来場下さいましたご家族の皆様のおかげで、実りある夏祭りとなりました。皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。(赤峰)



栄養科からのおたより

9/6(日)に定例の誕生日食を実施しました。今回のデザートは、いちじくがおいしい季節なので、皮をむき、赤ワインでコンポートにしてみました。ミキサー食は、いちじくを一度、ミキサーにかけ、その後、ゼリー状に固める時に一つずつラップと輪ゴムで茶巾に丸く形成し、見た目はいちじくの形そのままでお出ししています。食感ゼリーのようになめらかにし、安全に食べていただけるように工夫しています。管理栄養士 森谷



感染対策委員会からのお知らせ

インフルエンザやノロウイルス感染予防対策のため、手洗い・うがいを徹底しております。ご家族様の面会時にもご協力いただきますよう、宜しくお願い致します。尚、発熱や体調不良の方の面会をご遠慮下さい。(苦見)

「輝ける夕映え」を心に!

うららの相談員業務につき、丸5年の歳月の中で3年間デイケアでの相談員として業務に携わりました。その中で、利用者様の「障害をもたれる中で今以上の自分への挑戦をされる姿」やまた、その姿を見て励まされ、デイケア利用を決められた方、レクリエーションでの仲間作り等、その人らしく過ごしていただく役割の大きさを実感していました。

平成20年7月、武下施設長が赴任され、デイケアのテーマ「輝ける夕映え」を頂きました。これこそ私が模索していたのだと、思わず熱いものがこみ上げてきました。それからは、いつも、新しい出会いの利用者さんの中に「その人の輝ける夕映え」を描きながらしっかりと受取面接をしてきたと思っています。5年間の区切りでうららを退職いたしますが「輝ける夕映え」は、今後の私自身のテーマとし、そして、皆様とのさまざまな強い思い出を支えに輝き続けたいと思っています。長い間ありがとうございました。

デイケア相談員 藤田洋子

うららの理念

私たちは地域のみなさまが、自分らしく生きるために心のこもった医療と介護で応援します

医療法人社団 康明会 介護老人保健施設 うらら 〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河字長松寺574
TEL078-950-5177 FAX 078-950-5188 URL: http://www.roken-urara.jp

康明会 介護老人保健施設うらら 理事長 高原哲夫

「うらら」も開所5年を経過しました。ここまで無事に運営してこられたのも、ひとえに利用者の方のおかげと厚く感謝しております。5年前に産声を上げた赤ん坊も、5歳になれば幼稚園に通う年齢です。自我や個性が確立し、基本的な生活習慣や社会性を身につける時期であります。「うらら」も恵まれた環境であるこの地「淡河」に根ざして、地域の人々に認められ、愛され、信頼される施設へとより一層の努力をして行く所存であります。良きスタッフが頑張っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



健心会 北都病院 理事長・ほくと記念こやまクリニック代表 小山 治 様

うらら開設に当たり、淡河の公民館で地域役員の方々に説明会を行ったのが少し前のようですが、もう5年経ち地域に溶け込んだ施設になっていることは嬉しい限りです。当初は老人保健施設とはどんな役割をするものかも解りにくかったと思いますが、5年間の実績の中でその役割を何とか果たしてこれたのは地域の方々の協力あっての事と感謝いたします。うららに入所、または通所しておられる多くの高齢者の方々の医療面のバックアップをさせていただいておりますが、北都病院、ほくと記念こやまクリニックは今後ますますスムーズな連携をとり、安心して過ごしていただけるよう努めますので宜しくお願いいたします。日本の集中治療医学会において主導的役割を果たしてこられた武下施設長を先頭に職員一丸となって利用者様の安心で充実した生活を目指しておられることに心から敬意を表します。



うらら 施設長 武下 浩 施設長の期待～次の5年後に向けて～

私が「うらら」に着任してから1年4ヶ月が経ちました。当初の印象は若い職員が多く、職場の雰囲気が大変面白いということでした。皆それぞれの立場で激務をこなしてくれています。よく言われるように、介護の仕事はその内容の割には報酬が少ないのです。高齢者のケアに喜びを見出すという優しい心の持ち主でなければ長くは続かないのが現状です。しかし、「うらら」の自慢の一つは長く勤めてくれる職員の数が多いことです。もう一つ「うらら」の自慢をさせてもらいますと、職員に向上心があり、自分の専門をよく勉強してくれることです。老健には年に一回全国3000余の老健が集まって開く学術大会があります。どうすれば入所者が安心して生活できるか、どうすれば体の拘束を少なくできるか、どうすればリハビリの効果を上げることができるか、などについて研究を重ねて大会で発表しています。つまり、看護、介護、栄養、リハビリ、支援相談の各職域が協働して「うらら」の評価を高めようと努力しているのです。「淡河」の「うらら」が、その質の高さで全国的に知られ、保健と福祉の町「淡河」と言われるようになって欲しいものです。それが次の5年後に向けての施設長の期待です。地元のご支援を切にお願いします。



うらら 事務長 安田啓二 ～5年間を振り返って～

地域の皆様に支えられながら、試行錯誤を繰り返し、ようやく5周年を迎えることができました。この間、三度の介護保険法の改定があり、対応にも苦慮しましたが、利用者の方々のご理解をいただきながらようやく軌道に乗ってきました。5年間の実績を簡単に表しておりますが、施設入所だけではなく、ショートステイや通所リハビリテーション(デイケア)といった在宅サービスにも力を入れ、利用者数も着実に増え、ショートステイは全入所者(100床)の約10%、デイケアは定員40名に対し、1日平均30名以上の方々にご利用いただいております。今後は、認知症ケアや看取りなど、様々なニーズに対応できるよう努力を積み重ね、地域密着型の大規模多機能施設として進化していきたいと思っております。



1ヶ月の平均利用者数(人)			
	入所	ショート	デイ
初年度	2,483	108	262
2年度	2,786	146	544
3年度	2,725	184	728
4年度	2,703	236	843
5年度	2,647	268	877

淡河町自治協議会長 坂本正秀 様

「高齢化に向けて うららさんに期待」
現在、高齢化の進行が大きな社会問題になっていますが、淡河町に於いても例外ではありません。平成20年4月現在の人口は3,279人、内65歳以上781人、高齢化率23.8%です。例年敬老の日に80歳以上の方に敬老祝い品をお贈りしていますが、今年は367人でした。このような現状の中、「うらら」さんは淡河町内の高齢者にとって、大変心強い施設です。5周年を契機に益々ご発展されることを念じています。



淡河婦人会長 辻崎まさる 様

「盆踊りに参加して」
5周年おめでとうございませう。今年も盆踊り大会に参加させていただきました。曲は何がいいだろうか?やはり利用者の方々へのなつかしい曲でと云うことにしました。車椅子の方々、家族の方々、笑顔笑顔、手拍子いっぱい楽しい一時となりました。施設の方々の心温まるお世話の様子に心を打たれ、淡河町に良い施設が出来、大変うれしく思います。また来年も楽しい盆踊りで会いしたいと思います。



上淡河婦人会長 永福貴子 様

「開設5周年おめでとうございませう」
介護老人保健施設うららさんが開設され、婦人会もNPO輝あうんとしてミニ喫茶をさせて頂き、デイケアの実習にも参加して、歌やゲーム、器具を使ったリハビリ等、やさしく熱心に取り組んでおられる介護士の方々の姿を見、高齢化が進む淡河町に、近くで安心して行ける良い施設が出来たとよろこんでいます。現在も多くの皆さんが、デイケアに行く日を楽しみに待たれています。これからもよろしくお願い致します。



～ 2階コーナー ～

《介護の現場から '09》
2階では認知症の予防として、毎週月曜日にプリントを使った頭の体操を行っています。簡単な計算問題や記憶問題、名前や生年月日を記入する記録プリントに取り組んでいます。最初は「難しい」や「やりたくない」と消極的だった方も、その方にあった問題やプリントを準備し毎週継続して取り組むことにより、答えが出せる楽しさを知ってもらうことで積極的に参加していただけるようになり、今では職員も一緒に楽しみながら取り組んでいます。これからも、よりたくさんの方に楽しんでいただけるよう職員も頑張っていきます。(松本)

～ 3階コーナー ～

3階フロアは主に認知症を有する方が利用され、3階にて日々過ごされています。認知症が発症するには年齢を重ねる事等、様々な要因がありますが食事等で少しは防げるようで、新鮮なお魚・野菜・果物等を少しでも多く摂る中に含まれるビタミン(ビタミンCとE)があり、認知症の一つであるアルツハイマー病の予防に効果があるとの事で、普段からそのような食事を摂る地中海の人たちは他の地域に比べて発症リスクが低くなるらしいです。(谷川)

★リハビリコーナー★

《口腔機能維持管理加算に関して》
入所の皆様に、月一回、つねみ歯科による口腔指導を開始し、三ヶ月が経過しました。歯科医師、歯科衛生士による口腔指導では、その方に適した歯ブラシの検討、ブラッシング指導をしていただいています。指導により口に合わせた大きさ・かたさの歯ブラシ、入れ歯専用の義歯ブラシの購入をおすすめしています。ご協力・ご理解のほど宜しくお願い致します。引き続き、皆様の口腔内清潔維持、職員の口腔ケア技術向上を目標に実施していきます。(上田)

～ デイケアコーナー ～

今回は、プラ板を使ったネームホルダーです。女性の利用者様は、各自好みの絵を描き、「可愛いのができた」と大変喜んでおられました。それを観ていた男性の利用者様も、「やってみるか」とマジックを片手に挑戦され、オリジナルのネームホルダーの出来上がりです。今、利用者様のバックにはこの手作りネームホルダーが付いています。(石野)